「がん対策基本法改正案に関する国会議員アンケート」議員別ご回答結果

一般社団法人全国がん患者団体連合会（全がん連）は、2016 年 6 月 1 日より全ての国会議員の皆様を対象に、「がん対策基本法改正案に関する国会議員アンケート」を実施しました。

本用紙は、ご回答をいただいた国会議員の皆さまについて、議員別にその内容を記したものです。がん対策の推進に関心をもっていただき、ご回答をいただいた議員の皆さまに感謝申し上げます。国会議員のご回答一覧は、全がん連ホームページで公開しています。（ホームページアドレス：http://zenganren.jp/）

―――――――――――― 国会議員アンケートご回答結果ここから ――――――――――――

国会議員名

竹谷　とし子　（参議院議員／公明／東京）

問１　超党派議連「国会がん患者と家族の会」より提案される予定の「がん対策基本法改正案」について、次の臨時国会での早期成立が必要と考えますか？

☑ はい　　☐ いいえ　　☐ その他

【その他の場合のコメント】

問２　第 24 回参議院議員通常選挙（6 月 22 日公示、7 月 10 日投開票）に関して、政党のマニフェスト（選挙公約）などで「がん対策の推進」に関する内容が重視されるべきと考えますか？

☑ はい　　☐ いいえ　　☐ その他　（　　）

【その他の場合のコメント】

問３　がん対策の推進に関してご意見があれば、自由にご記入ください。

【自由記述欄】

公明党は一貫してがん対策に取り組んで参りました。今回の参院選重点政策では　1）がん検診率 50%以上の達成をめざす。2）放射線療法・化学療法の普及と人材育成、がん担当医全てに緩和ケア研修の実施、小中高校生などへのがん教育、がん登録の周知に取り組む。3）がん患者の就労支援、相談体制、経済的支援の強化、NPO 法人等の育成推進　4）免疫療法の研究開発支援を打ち出し、がん対策の強化に取り組みます。